

昭和基地 SENSU SuperDARN レーダーのイメージング化と将来展望 (2) Syowa SENSU SuperDARN imaging radar and the future perspective (2)

行松 彰^{1*}, 佐藤 夏雄¹

Akira Sessai Yukimatu^{1*}, Natsuo Sato¹

¹ 国立極地研究所

¹National Institute of Polar Research

1995年より、国際短波帯レーダーネットワーク観測プロジェクトである SuperDARN の一翼を担ってきた SENSU 昭和基地 HF レーダーの空間分解能を飛躍的に向上させる為のイメージング化の準備を更に進めている。この詳細な進捗状況を報告する。さらに、イメージング化の実現によって飛躍的發展が期待される、オーロラや電離圏不規則構造近傍の詳細な電離圏電場構造の観測による電磁圏・磁気圏結合物理素過程の研究、FTE や TCV 等のメソスケールの過渡的現象や波動現象、電離圏不規則構造自体の生成消滅物理素過程の研究、更には、高精度中性風や PMSE 等の観測による中間圏下部熱圏研究への貢献、また、飛翔体観測、他の地上ネットワーク乃至拠点観測との連携の具体的な観測計画等について議論し、将来を展望する。

キーワード: SuperDARN, 昭和基地, イメージング, 電磁圏結合, オーロラ, 中間圏・下部熱圏

Keywords: SuperDARN, Syowa, imaging, MI coupling, aurora, MLT region